



GCNJ「未来への羅針盤」 作成メンバー募集のお知らせ

1. 趣旨

GCNJ は 2020 年度総会に於いて、新たな発展段階である第三フェーズに入ることを宣言しました。そして 2020 年は、気候危機の実感が高まる中で発生した新型コロナウイルスをきっかけに、社会も人も大きく変化しようとしています。このような激動の時代に、企業はどこを目指して進めばいいのか？企業がこれを考える際のガイドとなる、人間と環境を中心に据えた羅針盤を創ることが本企画の目的です。

GCNJ はこれを「未来への羅針盤」と称し、次の 2 つから構成されます。

- 2050 年の複数の想定される社会像から、あるべき社会像を描く。
- 2050 年にそれを実現できるように、2030 年までの 10 年間の日本企業にとってのロードマップを作成する。

未来への羅針盤を日本の企業は自社のマテリアリティの特定、中長期計画の作成、SDGs 計画作成などに活用できます。そして GCNJ は、未来への羅針盤を企業へ普及することで、企業のポテンシャルを引き出して SDGs を推進することができます。

2050 年のあるべき社会像を考えるという企画の実行には、自社のベースにとらわれずに、多様な若者の参加が必要です。また、考える主軸にはパンデミックによって重要性が再認識された人権や気候危機など、Social や環境におく必要があります。GC10 原則を核に、多くの企業・団体が集まるプラットフォームである GCNJ でしか成しえないものです。

「2050 年はこの社会であってほしい」「この社会を作りたい」「その中で自分はこうありたい」という未来像を、将来を担う意欲に満ち溢れた若い皆さんが、既存概念にとらわれない発想で描く、という壮大な企画実行のために、作成メンバーを広く公募いたします。

なお、作成した「未来への羅針盤」は、GCNJ で機関決定を行った後に GCNJ ウェブサイトで公開するとともに、GCNJ の行動計画を作成して展開いたします。また、会員企業・団体の中期経営計画策定の一助となるのはもちろん、ビジネスに関わるすべての人の意識・行動に転機をもたらすと考えます。

この企画及び実施については、フューチャーセッションズの創業者であり、Slow Innovation 代表の野村恭彦様の協力を得て行います。



2. 作成方法とスケジュール ※いずれも ZOOM 開催の予定だが、初回だけ状況により実開催

| | 日時 | 内容 | 概要 |
|----------------|------------------------|--|--|
| 第 1 回目 会合 | 11/27 13:00-16:00 | ・有馬代表理事より主旨説明 (5分) ・後藤敏彦氏より人権と環境についての レクチャー (45分) ・野村恭彦氏より 2050 年の社会像の 考え方についてのレクチャー (45分) ・日本ビジネスをどのような方向に向 け活性化するか、フリートーク(90分) | 10 原則を理解し、2050 年の世界 を想像する (既存にとらわれず、 一人ひとりが違う未来を想像す る) |
| 宿題 | | 2050 年の世界と、それに向かって直近 10 年間でどう行動すべきか、考える | |
| 第 2 回目 A 会合 | 12/17 13:00-16:00 | 「人間グループ」のディスカッション (3 時間) | 指数関数的変化で形成される社 会像と、それに備えるロードマ ップを、個人でアウトプットし つつ、皆で話す。その後、グル ープ内で意見をまとめる。 |
| 第 2 回目 B 会合 | 12/18 13:00-16:00 | 「環境グループ」のディスカッション (3 時間) | |
| 意見発表 | 1/15(仮) 13:00-16:00 | 参加者全員で、各チームの作成意見を発表する。GCNJ 理事及び職員・各 参加者の上司も参加し、意見交換を行う。(3 時間) | |
| ロードマ ップ作成 | 1/中～2/上 | 前出の発表を参考に、30 代以上の幅広い世代の意見を入れて、参加者有 志と事務局で企業のロードマップ案を作成する。 | |
| パブコメ | 2/上～3/上 | 企業のロードマップ案へのコメントを全会員に求める。 | |
| 完成 | 3/下旬 | 作成チームの有志と事務局とで、企業のロードマップを最終化する。 | |

注：太実線枠内は全員参加。太点線枠内は各グループの全員参加。それ以外は希望者のみ参加。

3. 応募方法

- (ア) 希望する人物像：既成概念や組織の論理にとらわれず、常に本質を考えて、自分の価値観で行動するような、20～30 代の次世代リーダー
- (イ) 定員：16 名以下。書類審査の他、年代・業種・会員/非会員・ジェンダーバランスを考慮して参加者を決定します。
- (ウ) 参加費は無料ですが、交通費や日当は支給しません。
- (エ) 全て基本的にオンライン作業で行います。初回だけは状況が良ければ実開催も検討
- (オ) 応募時の提出物
 - 応募申請書 (添付)
 - 推薦書。会員の場合は上司など所属企業の方、会員以外は(会員でなくてもあなたの)所属団体の上司の方・または知り合いの会員の方より、メールに下記 3 項目を記載して担当者へお送りください。



- ✓ 応募者氏名
- ✓ 推薦者氏名、所属、役職、連絡先
- ✓ 推薦理由

(カ) 提出先及び問い合わせ担当者

土井 a.doi@ungcjn.org 庄司 y.shoji@ungcjn.org

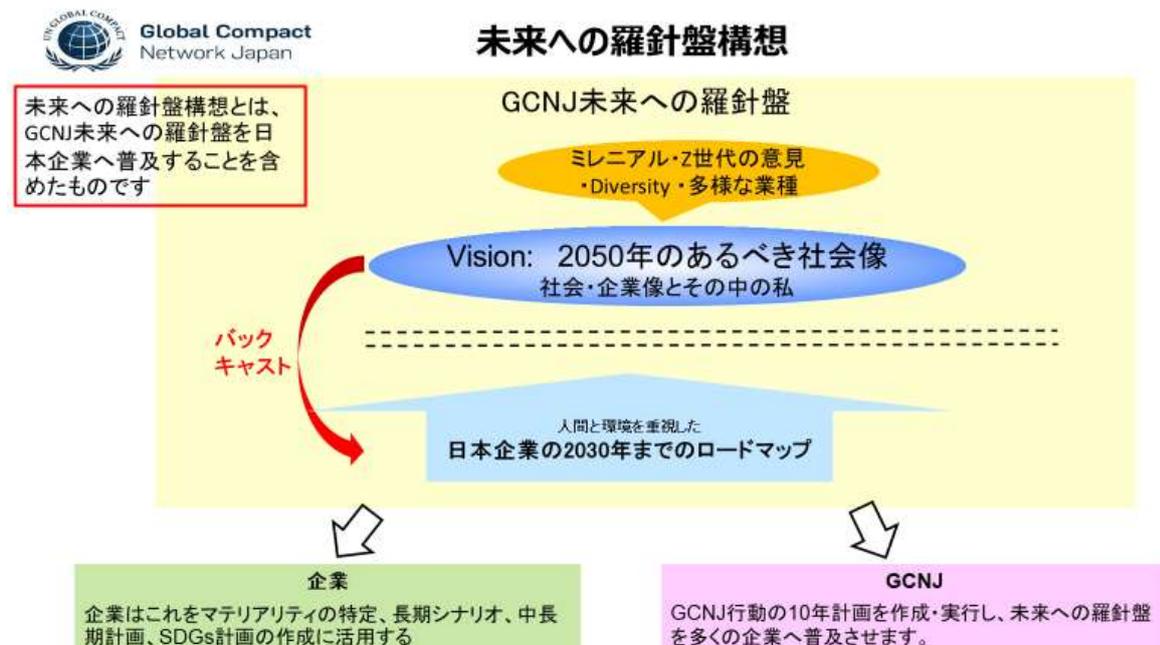
(キ) 募集日程

- 申込期間： 10月12日～11月13日
- オンライン説明会：10月19日（月）16:00～17:00（参加は任意）
<https://us02web.zoom.us/j/84528859875?pwd=djIxTUxXbHNWUWJEL3RmaGdocGxDz09>
 ミーティング ID: 845 2885 9875
 パスコード: 606045
- インタビュー（必要な場合）：11月19日
- 結果発表： 11月20日にメールでの詳細連絡をもって返させていただきます。

4. 参加者を出す企業・団体について

- 成果物に、参加者の名前は記載しません。
- 成果物に、参加者を出していただいた会員の企業・団体名は記載しますが、非会員の企業・団体名は記載しません。

参考資料: 未来への羅針盤と羅針盤構想のイメージ図





「未来への羅針盤」作成チーム 応募申請書

| | |
|-----------|---------------------|
| 応募者名 | |
| 所属団体名、部署名 | |
| 生年月日 | 年 月 日 |
| 経歴、関心など | |
| 希望グループ | 人間 or 環境 or どちらでもよい |
| 推薦者名 | |

【課題文】

2050年に向かって社会(日本・世界)をどうしたいか、自分は2050年にどうありたいか、800字以内で自由に記載ください。